

参加者のみなさまへ

安全な活動のために
知っておきたいクマのこと

～あなたと仲間を守るために～

東京都水道局が管理する水道水源林は、多様な動植物が暮らす豊かな自然環境であり、クマもその一員として生息しています。

近年、各地でクマの出没が増加していますが、クマは基本的には森林に生息し、人を避ける動物です。

しかし、突発的に出会うと防御的な攻撃を招き、危険な場合があります。

本資料をご確認いただき、参加者のみなさまもクマのことを知り、安全な対応方法について、ご理解いただけますと幸いです。

参加者のみなさまへのお願い

クマに出会わない、近づけないために

- 1 ジュースやおかしなど、においのつよいものは、フタをしっかりと閉めた入れものに入れてください。また、ごみはかならずもち帰りましょう。

【クマの特性】

- ・クマはにおいにととても敏感
- ・頭がよく、食べ物の味を覚えると執着する



- 2 みんなでいっしょに行動しましょう。ひとりで行動しないでください。また、クマ鈴など、音の出るものをできるだけ身につけましょう。

【クマの特性】

- ・クマはこわがりで警戒心が強い動物
- ・クマは耳が良く、人に気づくと人を避ける



もしもクマに出会ってしまったら・・・

- 1 クマを見つけても、走らないでください。クマを見ながら、ゆっくりはなれましょう。大声を出したり、物を投げたりしないでください。

【クマの特性】

- ・クマは足が速い（100mを9秒で走る）
- ・逃げるものを追いかける習性

- 2 小さいクマを見つけても、近づかないでください。お母さんクマが近くにいるかもしれません。すぐにその場からはなれましょう。

【クマの特性】

- ・子を守るために襲うことがある



- 3 いざという時は・・・クマが近くにいて、にげられないときは、うつぶせになりましょう。両手で頭と首を守ってください。

【クマの特性】

- ・クマは頭部を攻撃することが多い



クマの生態

水源林にもクマはいる？

- ・日本には「ヒグマ」と「ツキノワグマ」の2種類
- ・水源林には「ツキノワグマ」が生息

【ツキノワグマ】



水源林で確認されたクマ

本州と四国に生息

体長 オス：120～150cm
メス：100～130cm

体重 オス：40～100kg
メス：30～60kg

クマは何を食べる？

- ・食性は、植物中心の雑食
- ・体が大きく、たくさん食べるため、食べ物に執着する

【クマの一年】

繁殖期

虫や木の实、くだものなどを食べます。



冬眠の準備

どんぐりなどの木の实をたくさん食べます。



冬眠から目覚める

山菜や若い草などを食べます。



冬眠・出産

11月下旬～12月に冬眠に入り、3～5月まで冬眠します。



水道局が実施する対策

森林内でのイベント実施前には、水道局で以下の対策を実施

①クマ出没情報の確認

活動場所近くでクマが出ていないか確認

②クマ痕跡確認

活動場所を事前に見て回り、クマの足あとや爪あとなどの痕跡がないか確認



爪あと



クマ剥ぎ

③音出しによる警戒

事前点検時や活動当日にクマホーンやクマ鈴等による音出しを実施

④クマスプレーの携行

もしものときに備えて、職員はクマスプレーを持って活動



クマ鈴、クマホーン、クマスプレー